

ほ場やハウスに流入した油類（重油、軽油等）はどのように対処すればよいですか

《概要》

1 水田

(1) 水稻の生育を優先する場合（油類の流入量が少ない場合）

- ・ 真水を水口から水尻に向けてかけ流して油分を水尻に集め、オイルフェンスなどを設けて油分を回収するか、排除しましょう。なお、排除した油分が下流の水田に流入しないように注意しましょう。

(2) 油類の流入量が多く拡散防止を優先する場合

- ・ 水口と水尻を止めて、田面水の地下浸透を図り、油分を土壌表面に吸着させて放置し、空気にさらして油分の酸化分解を待ちましょう。
このとき、ケイカルまたは消石灰を40～60kg/10a施用すると油分の分解が促進されます。ただし、多量施用はアルカリ障害を生じるので注意しましょう。また、油分を土中に埋没させると、分解が遅くなり逆効果となるため、耕起はしません。

2 水田利用畑及び畑

(1) 油分の酸化分解の促進

- ・ 土壌の乾燥化に努めて油分を積極的に酸化分解させましょう。畑等では油分が浸透するため、必要なら適時耕起しましょう。土壌中の油分の分解速度は、土壌条件その他によって異なりますが、およそ1か月で50%、3か月で70～80%とされています。

(2) ケイカルまたは消石灰の施用

- ・ ケイカルまたは消石灰を40～60kg/10a施用すると油分の分解が促進されま
す。ただし、多量施用はアルカリ障害を生じるので注意しましょう。

(3) 安全性の確認

- ・ だいこん等の野菜の種子を播き、安全性（発芽・発根）を確認してから次の播種又は植え付けを行いましょう。

《問い合わせ先》

担当部署	電話番号
農林水産総合センター 普及推進課	086-955-0274
備前県民局 備前広域農業普及指導センター	086-233-9845
東備農業普及指導センター	0869-92-5176
備中県民局 備南広域農業普及指導センター	086-434-7047
井笠農業普及指導センター	0865-69-1652
備北広域農業普及指導センター	0866-21-2850
新見農業普及指導センター	0867-72-9177
美作県民局 美作広域農業普及指導センター	0868-23-1496
真庭農業普及指導センター	0867-44-7582
勝英農業普及指導センター	0868-73-4067